

**原油・原材料高騰から市内業者の営業を守るため、影響調査と具体的支援の実施を**

**質問** 原油の高騰による市内業者への影響調査をすべきではないか。

**市長** 企業活動支援員等からの情報と中小企業庁実施の影響調査が同様の傾向なので、改めて調査を実施する考えはない。

**質問** 業者から「原油高騰で困っている」等の相談は寄せられていないか。寄せられたとすれば何件で、具体的にどのような相談か。

**市長** 原油高騰に関する具体的な相談

は寄せられていない。今後、原油高騰に関する相談があった場合は、全国政府系中小企業金融機関や信用保証協会、商工会連合会、地域経済産業局に特別相談窓口が設置されているので、これらの相談窓口を紹介していく。

**ISO14001認証を返上し、羽村市独自の環境マネジメントシステムへ向け新たな転換を**

**質問** ISO14001の取り組み成果をどのようにとらえているか。

**市長** 環境への負荷軽減、環境に配慮した事務事業の推進、経費の節減、職員

の環境に対する意識の向上、PDCAサイクルによるマネジメント手法の活用等が取り組みの成果である。

**質問** 羽村市独自の環境マネジメントシステムへと移行すべきではないか。

**市長** ISO14001環境マネジメントシステムは環境管理に関する国際規格であり、国際的に認められた外部審査機関により定期的に評価を受けており、環境の側面に限らず、市の行政運営にも成果を上げているので、現在の環境マネジメントシステムを継続していく。

**質問** マイバッグを市で作成し、各家庭へ無料配布をしたらどうか。

**市長** 無料配布は考えていない。



▲ ISO14001 外部審査の様子

いちかわ えいこ  
**市川 英子** 議員  
(日本共産党)



◇ 原油高騰から市内業者を守る支援を  
◇ 市独自の環境マネジメントシステムへ

格を持ち、条例化の必要はないと考える。

**動物公園通り等の規制と安全対策は**

**質問** 動物公園通りの速度・車種の制限を継続するよう、引き続き都公安委員会へ要望していくべきではないか。

**市長** 1千853人から規制継続の要望があり、引き続き福生警察署に要請する。

**質問** 武蔵野小・羽村三中前の通りをスクールゾーンに指定すべきでは。

**市長** 福生警察署では「スクールゾーン」とすることは可能とのことである。今後は、武蔵野小PTAや地域の理解が得られた段階で、交通規制について福生警察署と協議していきたい。

市民が行動する日に定めてはどうか。

**市長** 世界全体で取り組む重要課題であり、国の動向を見極める。

**質問** 市の環境貢献のため、「※グリーン電力証書システム」へ参加しては。

**市長** 今年7月26、27日の夏まつりの会場で使用する電力に活用する。

**市民の健康支援について**

**質問** 働く女性のため、ホームページで各種健康相談等の情報を提供しては。

**市長** 女性特有の健康課題に対応する機関の案内等、ホームページの充実に努める。○その他、市民農園の拡大、がん検診等について質問しました。

※グリーン電力証書システム：自然エネルギー発電と火力発電などの差額分に相当する証書を購入することでCO<sub>2</sub>の削減に貢献するシステム。



▲羽村駅西口土地区画整理事業設計図

## 公有地の管理は万全か

道路敷内に民有地が、逆に※赤道が宅地の一部として使われている個所がある。精査の上は正すべきと考えて何う。

**質問** 実態と占用料徴収は。

**市長** 公図や登記簿と現況に相違があるものは19カ所ある。市条例では公道が

なかね やすお  
中根 康雄 議員  
(羽村クラブ)



◇公有地の管理は万全か  
◇西口区画整理のその後を問う

宅地として使用されている事例の想定はしていない、占用料は徴収していない。

**質問** 今後の対応はどうするのか。

**市長** 歴史的経緯の中で生じたと思うが、関係者と話し合い、解決の道を探る。

**質問** 道路敷地内民有地は正手続きと民有地内旧道敷の適正価格での払い下げは。

**市長** 是正については所有者との合意のもとに市有地として登記し、現民有地内の旧道敷は付け替えや廃道部分の払い下げなどにより対応する。

## 西口区画整理のその後を問う

換地案はずさんで公平でない、整備に理解してきた人の多くが反対している。現状を生かし、現地換地または近傍に定め、補償も多くすべきでは。

**質問** 駅前広場工事のその後の状況は。

**市長** 計画との整合を図り、法的に仮換地指定をし整備工事に着手する。

**質問** 解体廃材は完全撤去されたか。

**市長** 適切に処理されていることを産業廃棄物管理票により確認した。

## 西口区画整理について

計画が具体的に示された中、これまで賛成していた市民からも疑問や反対の声が上がっている。かたくなに区画整理に固執するのではなく、現実的に市民の納得が得られる計画に変更することを求める立場から質問する。

**質問** 事業の「設計図」である仮換地案では、曳き家により移転が可能と見込まれる戸数、再築が必要と見込まれる戸数はそれぞれいくつか。

**市長** 事業計画では、曳家700棟、再築268棟を見込んでいる。

**質問** 資金計画では、歳入のうち、平成24～28年度の市費の内訳をどう推計しているか。

**市長** 市費歳入合計は約132億8千万円と見込んでいる。内訳は一般財源が約36億8千万円、地方債が約55億8千万円、その他、補助金等が40億2千万円である。

**質問** 区画整理事業に伴うCO<sub>2</sub>とごみ

すずき たくや  
鈴木 拓也 議員  
(日本共産党)



◇羽村駅西口土地区画整理について  
◇小・中一貫教育校構想について



▲校庭で遊ぶ子どもたち (羽村西小学校)

の排出量はどの程度と見積もっているか。  
**市長** CO<sub>2</sub>の排出量の予測調査は行っており、廃棄物の発生量は見積もっていない。

## 小・中一貫教育校構想について

すでに小・中一貫教育を行っている自治体では、小学生と中学生との交流が

**質問** 再築補償ですべて新築できると思っている人が多い。何を基準にどの程度出るのか具体的数値を示してほしい。

**市長** 参考例は「まちなみ」に示したが、移転計画段階で改めて示したい。

**質問** 換地設計に当たり、利用状況・環境等や公平・平等にどう配慮したか。

**市長** 照応の原則を基本に諸基準をもとに行い、隣地同士に不公平が生じないように配慮した。

**質問** この事業の実際の決定権者は誰か。

**市長** 事業認可者は都知事で、事業案の責任者は羽村市長の私である。

※赤道：公図上で赤線で表示された地番のない道路。道路法の認定外道路。

つゆき りょういち  
露木 諒一 議員  
(公明党)



◇安心できる地域医療体制について  
◇精神障害者対策について  
◇学校のアレルギー疾患への取り組み

**安心できる地域医療体制について**

**質問** 公立福生病院の待合室に行くとき、「内科医1人体制となり、入院をお引き受けできない場合は、他科もしくは他院を紹介し上げることがございます」と掲示されている。このような状況に対し「危機感」を持っているか。

**市長** 医師の確保は、地域住民の切実な願いであり、病院の総力を挙げて取り組んでいくことが必要と考えており、強く申し入れを行っている。

**精神障害者対策について**

**質問** 精神障害者共同作業所「スマイル工房」の建物が老朽化している。対策は検討しているか。

**市長** 市の公共施設全体のストックマネジメント計画を策定し、優先順位等を付して改修を行っていく。

**質問** 「グループホーム」などの居住支援が必要と考えるが市の考えは。

**市長** 民間事業者の参入を促し、事業者への支援を通じて推進していく。

**学校のアレルギー疾患に対する取り組みについて**

**質問** アトピー性皮膚炎の治療は、夏場や体育の授業などでかいた汗の対策

進むなどの効果が伝えられている。しかし、教員の多忙化に拍車がかかること、隣接校と離れている学校との条件差など、混乱が起きる危険もあると考える。

**質問** 父母・教師への十分な「説明」と「意見を聞く」ことが必要と考えるが、どのように、いつ行う予定か。

**教育長** 武蔵野小と三中の教職員・PTAを対象に、1学期中に実施する。

**質問** 教員の多忙化について、どのような対策を講じようとしているのか。

**教育長** 市独自の非常勤職員の配置について、具体的な検討をしていく。

などが必要になる。保健室に温水シャワーが設置されれば、さまざまな事情で体を汚した場合でも対応できるのでは。

**教育長** 今後、改修工事などの時に学校とも協議し、設置について検討したい。

**質問** ※アナフィラキシー症状に備え、「アドレナリン自己注射」（製品名「エピペン」）が承認されている。緊急の時に担任や養護教諭など学校職員が打って欲しいなどの声があるが、対応は。

**教育長** 教職員が注射することは、保護者・主治医等と十分協議し対応する。また、教職員全員の共通理解を図り、誰もが適切な対応を図れるよう研修等を実施していく。



▲保健室（羽村西小学校）

※アナフィラキシー：異物が体に入った時に過剰に反応するアレルギー症状の一種。ハチ毒や食物、薬物などが原因で起こる。